

歩こう！きそふくしまプロジェクト

取り組みに至る背景・事業の目的

まちづくり木曾福島は、官民出資の株式会社として平成 15 年に設立され、中心市街地の魅力アップのため、中心地にある代官屋敷などの文化施設や駐車場の管理、直営事業として古民家を再生した飲食店 2 店の経営などを行っているほか、100 名超の住民にボランティアとして参画いただき、様々な企画を打ち出して、まちなかの賑わいづくりを進めている。

これらの一環として、交流と回遊の推進および街並み景観の統一化を目的として、以下 3 つの事業を実施した。

① ほお葉祭り開催事業

「朴（ほお）」は木曾の特産品として古くから地元民の生活に密着しており、様々な用途で使われているが、外部の認知度が低いため、木曾ブランドとして地域外へ発信するシステムを構築し、来街者の市街地回遊ソフトとして展開する。また、育成→加工→宣伝→販売というフローの中で、地区や世代を越えて多くの方が関与及び交流することで信頼関係を築き、今後の産業化を模索する。

② 森林と花の香りあふれるまちづくり事業

従来各地域で個別に行っていた花いっぱい運動にまとまりを持たせ、花による町内を結ぶ導線を作り、住民や観光客への「歩いて感じる町きそふくしま」の一層の向上を図る。また、花による環境美化により住民の地元への美化意識・愛着度を高め、景観形成に寄与する。

③ 中山道福島宿散策路整備事業

最近の歴史街道ブームにより、中山道も注目され歩行者が増えている。こうした歩行観光者のために福島宿の要所要所に休憩用の縁台（＝ベンチ）を設置し、観光サービス向上を図る。

事業内容

① ほお葉祭り開催事業

- ・ 6 月初旬の 2 日間にわたり「木曾のほお葉祭り 2008」を開催
- ・ 10 月中旬、植樹会を開催
- ・ 新商品開発



② 森林と花の香りあふれるまちづくり事業

住民や観光客の「歩いて感じる町きそふくしま」の一層の向上を図り、花による環境美化により住民の地元への美化意識・愛着度を高め、景観形成を推進するため、間伐材利用のプランターカバーを利用した季節の花の植栽及びメンテナンス、一般参加によるガーデニング展、人材育成のための講習会の定期開催や先進地視察研修などを行い、多くの参加者を得た。



③ 中山道福島宿散策路整備事業

ここ数年の歴史街道ブームに加え、昨年 NHK にて中山道ウォーキング番組（勅使河原郁恵さん出演）が放送されたことで、中山道も注目をされて歩行者が増えている。

こうした歩行観光者のために福島宿の要所要所に休憩用の縁台（ベンチ）を 50 基設置し、旅行者向けの観光サービスを向上し観光立県に寄与した。また、地元の散策者にも多く利用されている。



事業効果

① ほお葉祭り開催事業

イベント集客数は2日間で3,000名を突破し、多くの観光客や地元客で賑わった。隣接会場にて開催された長野県林業大学校30周年記念イベントとタイアップした。また、隣接する上松町のイベント実行委員会との情報交換及び交流が実現し、同時多発イベントとしての相乗効果が得られた。今後のエリア拡大が狙える結果となった。

また、延べ200名を超える住民ボランティアにイベント運営を支えられた。秋に開催された植樹会は、地元中学生の林業体験授業とも連携した。

② 森林と花の香りあふれるまちづくり事業

年2回の植替えにより、町に彩りの統一感を持たせることができた。また、ハンギングの植栽・展示による立体感のある演出は、散策者に大変好評であった。

参加者は、今年度から老人クラブの方々の参画を得て、大きく参加者数を伸ばした。また、日々の水やり当番も講習会の開催効果により4名増えて16名となった。

③ 中山道福島宿散策路整備事業

住民有志が集まってベンチを製作することにより、中山道を歩く方々に思いを馳せ、連帯感と期待感を共有することができた。また、散策目的の観光客が増加した。

実際に中山道を歩き、ベンチの設置場所を検討し、設置のお願いに訪問したことで、会議や製作に関わらなかった人たちも、ベンチで思いを共有することができた。

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

① ほお葉祭り開催事業

- ・ イベントの魅力アップと集客数の増加のため、ファミリー向けのアトラクションを準備するとともに、休日のふれあい参観日の終了時間に配慮したスケジュールを組んだ。
- ・ 県林業大学校30周年記念イベントとの事前調整を進め、場内に林大ブースの出店をしていただくなど地域イベントの理想形とも言えるコラボレーションを目指し、成果を得た。
- ・ 上松町のイベント実行委員会との情報交換及び交流が実現した。特に広報関係でお互いのイベントを紹介しあう相乗効果が得られた。
- ・ 「朴」は木曾谷全体の特産品であるので、イベント開催エリアを更に広げて、同時期多発イベントとして拡大させていくことが今後の課題である。

② 森林と花の香りあふれるまちづくり事業

- ・ 常連メンバーによるロコミと勧誘で、日々のメンテナンス要員が増加した。
- ・ 多くの人の目を楽しませるため、「木曾音楽祭」「ほお葉祭り」「関所祭り」などのメインとなるイベントのスケジュールに併せて植替えを行った。
- ・ 間伐材を利用した木枠コンテナの経年劣化が進んでおり、メンテナンスが必要となっている。今後の継続した事業推進のため、長い時間をかけて地域住民の意識醸成を進める必要がある。
- ・ 空き店舗の増加により途切れがちな街並みの連続性を保つ役割を担う必要がある。

③ 中山道福島宿散策路整備事業

- ・ 道路が途切れ案内板も少ない中山道のイメージアップのため、ベンチ設置のアイデアで事業提案を行った。設置場所についてのトラブルを未然に防ぐため、住民アンケートをもとに地域の方々と一緒に話し合い、実際に歩いて設置した。
- ・ 観光客だけでなく、地元住民の利用も目立ち健康づくりに貢献できた。
- ・ 今後は、ベンチを有効活用できる企画の検討を行い、実施する。
- ・ 周辺エリアの協力を要請し、設置場所の拡大により「中山道木曾路」のイメージの定着を図り、多くの住民が中山道を大切にす雰囲気を作るとともに、来街者からみた中山道のイメージアップにつなげる。

【選定のポイント】

地域の特産品のブランド化のためのイベント、四季折々の花による沿道や店先の装飾、手づくりの縁台の観光要素への設置などを通じ、一貫して魅力あるまちづくりに努め、木曾福島地区のイメージアップに貢献した。他への模範となる取組として評価できる。

団体名 株式会社まちづくり木曾福島（木曾町）
連絡先 担当 木村みか 電話 0264-22-2766
ホームページ <http://www.nanchara.net>
メールアドレス tmokiso@mx2.avis.ne.jp

事業タイプ ソフト・ハード事業
事業費 5,007,570円
支援金額 3,998,000円